PAL GROUP HOLDINGS

2022年2月期
第2四半期 決算説明会資料
2021年10月20日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営

SMILE
IS
POWER.

目 次

財務報告 …… 2

2022年2月期 第2四半期決算概況 …… 3

2022年2月期 通期業績の見通し …… 14

経営ビジョン …… 16

トピックス …… 19

株主様への対応 …… 26

ESGへの取組み …… 29

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2022年2月期 第2四半期決算概況
2022年2月期 通期業績見通し

2022年2月期　連結・㈱パルグループホールディングス単体＋㈱パル　第2四半期決算概況

PAL GROUP HOLDINGS

上期を振り返って

- **売　上　高：** 上期のほぼ全期間に渡り、緊急事態宣言や、まん延防止措置による外出自粛の影響が圧し掛かっていたことで、店舗への来客数は大きく減少したまま推移しました。昨年と同様に、衣料事業の店舗での売上の減少をECで出来るだけ代替し、また、巣籠需要に対応し、『3コインズ』や『Salut!』を中心とした生活雑貨ブランドの飛躍的な伸長により、店舗全体の売上減をカバーすることが出来ました。
- **利　益　率：** テレワークの普及や、外食・旅行が出来ないなどの生活様式が変わる中、特に、タウン系のファッション需要が大きくダメージを受けたことや、規制の連続による在庫への悪影響で、利益を上げづらい事業環境が継続しました。

連結

■ 売上高　■ 経常利益

単位：百万円

㈱パルグループホールディングス単体＋㈱パル

■ 売上高　■ 経常利益

単位：百万円

2022年2月期　(株)パルグループホールディングス　第2四半期連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期　第2四半期			
			公表値	実績		
					前年同期比	公表値比
売上高	66,958	45,165	63,000	63,195	139.9%	100.3%
売上総利益	38,209	24,191	35,500	34,809	143.9%	98.1%
（売上比）	57.1%	53.6%	56.4%	55.1%	1.5%	△1.3%
営業利益	5,524	△1,761	1,850	2,838	ー	153.4%
（売上比）	8.2%	ー	2.9%	4.5%	ー	1.6%
経常利益	5,488	△1,983	1,700	2,793	ー	164.3%
（売上比）	8.2%	ー	2.7%	4.4%	ー	1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,468	△1,518	800	1,444	ー	180.5%
（売上比）	5.2%	ー	1.3%	2.3%	ー	1.0%

- 緊急事態宣言や、防止措置の長期化による店舗売上の減少を、引き続き、EC売上でカバーすると共に、巣籠り需要を捉えた3コインズの大健闘により、想定した売上高をフォローすることが出来ました。
- 利益面では、前年比で粗利益率が回復したものの、緊急事態宣言の再延長等により、仕入れ在庫のコントロールが間に合わず、第2四半期では、マークダウン等での販売など、利益喪失の環境に対応せざるを得ませんでした。

2022年2月期 ㈱パルグループホールディングス単体 ＋㈱パル 損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	
			実績	前年同期比
売上高	54,216	36,742	55,673	151.5%
売上総利益	31,271	19,998	30,914	154.6%
（売上比）	57.7%	54.4%	55.5%	1.1%
営業利益	4,866	△1,135	2,701	ー
（売上比）	9.0%	ー	4.9%	ー
経常利益	4,869	△1,145	2,759	ー
（売上比）	9.0%	ー	5.0%	ー
当期純利益	7,271	287	1,642	572.1%
（売上比）	13.4%	0.8%	2.9%	2.1%

- 厳しい販売環境に立ち向かうべく、衣料事業に於けるEC化率を出来るだけ高める施策を徹底した結果、上期で38%と、過去最高となりました。このECの伸張により、売上高は、前年比51.5%増、前々年比でも2.7%増となりました。
- コロナ禍の中、『3コインズ』の店舗の大型化、価格帯の拡充、さらには、軽家電商品等の取り扱い開始などの新規のラインナップ増強、ECの取り扱い開始などの施策を一気に展開したことで、前年比85億円（83.8%）の売上増となりました。

2022年2月期第2四半期　株式会社ナイスクラップの状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2019年8月期 実績	2020年8月期 実績	2021年8月期 実績	前年比
売上高	8,295	5,671	6,196	9.3%
営業利益	598	△76	△60	―
経常利益	609	△62	△46	―
当期純利益	516	△106	△40	―

- コロナ禍の中、引き続きEC強化を行い、新規サイトへ積極的に出店しました。結果、EC6店舗増加、既存EC店舗も2ケタ増となり、20年度売上はクリアできました。
  しかし、リアル店舗は休業もあり、苦戦は続いております。

- リアル店舗は、コロナ明けの対策はもちろんですが、コロナ禍でも客数を上げるべく、洋服以外の商品を強化し、新規顧客の獲得、売上の補填に努めてまいります。

- ブランド別では、基幹ブランドの「one after another NICECLAUP」のEC売上が、前年割れになりました。
  顧客売上はKEEPできておりますが、流動客売上の落ち込みが要因です。
  下期からは、マス向けトレンド商品を展開し、流動客数増加、売上増加を目指します。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

		2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料					
	売上高	48,714	32,061	39,824	124.2%
	構成比	72.8%	71.0%	63.0%	△8.0%
	営業利益	4,068	△2,085	246	ー
	営業利益率	8.4%	ー	0.6%	ー
雑 貨					
	売上高	18,194	13,080	23,325	178.3%
	構成比	27.2%	29.0%	36.9%	7.9%
	営業利益	1,433	317	2,597	819.2%
	営業利益率	7.9%	2.4%	11.1%	8.7%
その他					
	売上高	49	23	45	195.6%
		2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高					
	ZOZO TOWN	5,794	6,182	7,874	127.4%
	自社PALCLOSET	1,850	3,431	5,429	158.1%
	その他	1,076	1,165	1,184	154.9%
	合計	8,720	10,778	15,137	140.2%
	対衣料売上高比率	17.9%	23.9%	38.0%	14.1P

- 衣料事業、雑貨事業の構成比が、63：37となり、雑貨事業の比率が、初めて3割を上回りました。
- EC売上高のうち、PALCLOSET での売り上げ構成比が、35.9%となりました。引き続き、強化にあたっていきます。

主なブランド

売上高

単位：百万円

Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

カスタネ　店舗数　24店舗

売上高

単位：百万円

Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネートを提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

ルイス　店舗数　11店舗

売上高

単位：百万円

3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE 3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・アクセサリーなどの商品を、ベーシックなものから楽しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ　店舗数　220店舗

販売費及び一般管理費

単位：百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同期比
（株）パルグループホールディングス単体＋（株）パル	26,404	21,134	28,213	133.5%
連結	32,685	25,953	31,970	123.2%
販管費率（連結ベース）	48.8%	57.5%	50.6%	△6.9P
人件費率	18.2%	21.6%	17.7%	△3.9P
賃料費率	15.0%	15.1%	13.3%	△1.8P
広告宣伝費率	1.2%	1.7%	2.5%	0.8P

- 販管費は、平常時のレベルへ戻りつつありますが、出店条件を厳しく絞っていく中、賃料比率が大きく下がって来ており、今後も、第2フェーズでの賃料引き下げを徹底していく方針です。
- EC売上高の増加による、運送費や通販手数料などの変動費目での増加が販管費の額を押し上げています。

店舗数

第2四半期末店舗数920店舗
（前期末比12店舗減少）

- **出退店状況**

  前期からの退店の持ち越しが、上期に実施され、新店25店舗、退店37店舗となり、純減12店舗となりました。

- **各ブランドの出店状況**

  コロナとの共存の中、巣籠需要のニーズで、引き合いの強い3コインズで13店舗、大型化推進の CiaopanicTYPY で3店舗の新規出店をし、ブランドの縮小を図る Un dix corsで4店舗の退店を実施しました。

特別損益

単位：百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期
固定資産除却損	72	49	83
減損損失	80	209	381
特別損失合計	152	258	465

- 昨年来進めてきています、不採算店舗の退店により、特損は前期比、約倍増となりました。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	67,842	81,966	61,663	△20,303	
現金及び預金	52,727	63,088	44,735	△18,353	
売掛金	6,435	7,310	6,470	△840	
たな卸資産	7,829	9,740	9,759	19	
その他	849	1,826	697	△1,129	
固定資産	27,112	26,220	24,932	△1,288	
有形固定資産	7,780	7,677	7,402	△275	
無形固定資産	690	549	494	△55	
投資その他の資産	18,641	17,992	17,036	△956	
資産合計	94,954	108,186	86,596	△21,590	
流動負債	36,004	52,181	30,654	△21,527	短期借入返済15,000
固定負債	12,323	11,652	11,228	△424	
負債合計	48,327	63,834	41,882	△21,952	
純資産合計	46,627	44,351	44,713	362	
負債純資産合計	94,954	108,186	86,596	△21,590	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2020年2月期 第2四半期	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,417	△11,638	△1,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,636	△1,228	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	388	11,077	△16,824
現金及び現金同等物の増加（減少）額	7,169	△1,789	△18,352
現金及び現金同等物の期首残高	45,633	52,727	63,088
現金及び現金同等物の期末残高	52,802	50,938	44,735

- コロナ禍の中で、円滑なキャッシュフローの維持に向けて、昨年導入しました短期借入の150億円につきましては、この中間期末の8月末で、一括返済しております。

2022年2月期　連結通期業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2020年2月期	2021年2月期	2022年上期	2022年下期	2022年2月期	前期比
売上高	132,163	108,522	63,195	68,000	131,000	120.7%
売上総利益	74,386	59,237	34,809	37,740	72,600	122.5%
販売管理費	65,319	57,853	31,970	33,200	65,150	112.6%
営業利益	9,067	1,383	2,838	4,550	7,400	535.1%
経常利益	9,168	1,052	2,793	4,300	7,100	674.9%
特別損益	△564	△548	△465	△335	△800	184.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,028	270	1,444	2,450	3,900	270.1%
粗利率	56.3%	54.6%	55.1%	55.5%	55.4%	0.8P

- 緊急事態宣言が9月末まで延長され、解除後の10月以降も、自治体での段階的な制限解除策が行われることで、個人消費の回復には、さらに一定の期間が必要と判断し、売上高を当初より3,000百万円減収と修正しています。ただ、8月後半からは、宣言解除後を睨んだ、秋冬ファッションの動きが、タウン系のブランド（ガランテ、ビアズリー、ウィムガゼット等）で見られており、10月以降の売上増を期待しています。

- また、利益面では、コロナ禍の中、ファッション消費における価格の低下トレンドは引き続いていると判断し、粗利益率の上昇を、当面は抑えてくるものと考えています。従って、賃料を軸に、あらゆる販管費の一層の削減を図ることで、利益を確保していく所存です。通期予想数値の利益項目は、全て期初通りの計画数値として、据え置きしております。

2022年2月期　通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

( )内、現時点の確定数

1. 店舗数の状況

	2020年2月期	2021年2月期	2021年8月末	2022年2月期　期末予想
新規店舗数	48	72	25	44
退店店舗数	48	66	37	66
店舗数純増	0	6	△12	△22
会計年度末の店舗数	926	932	920	910

2. 既存店売上の状況（パルグループ各社の合計）

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期 上期累計実績	2022年2月期 下期累計見通し	2022年2月期 通期見通し
既存店売上推移	100.1	79.7	161.6	104.0	132.8
うち小売既存店売上高	98.2	71.2	225.6	96.7	161.2
うちネット通販既存店売上高	114.0	131.1	130.7	132.8	131.8

	2020年3月	2021年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	69.1	133.5	331.3	186.9	100.6	118.2	99.3
うち小売既存店売上高	66.1	131.4	680.1	247.3	93.1	110.7	91.0
うちネット通販既存店売上高	101.9	144.2	131.4	129.3	122.8	136.9	123.6

7月にプレス致しました、第1Qサマリーに於いて、2021年5月の「ネット通販既存店売上高」の記載に誤りがあり、今回修正しています。

3. 全店売上の状況

	2020年3月	2021年3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	71.7	143.6	389.3	203.9	105.8	124.7	106.8	144.1
うちEC	98.8	153.7	143.9	137.1	129.4	146.0	136.9	140.2

4. 客数、客単価の推移

	客単価前々年度比（第二四半期累計）	客数前々年度比（第二四半期累計）
衣料事業	108.9%	115.2%
雑貨事業	109.0%	145.2%
全体	98.7%	141.3%

SMILE
IS
POWER.

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン

業績推移

（%）
90
80
70
60
50
40
80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80
53.2 54.0 55.7 56.3 56.0 56.8 56.5 54.7 56.4 54.9 56.1 55.8 55.7 56.3 54.6
（百万円）
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
2007年
SPA化率80％を達成
2006年
東証1部に上場
2002年
ナイスクラップに
資本参加
55,445 61,360 66,461 69,879 77,395 85,360 92,479 100,033 108,089 114,410 116,457 123,241 130,474 132,163 108,522
5,221 4,169 4,243 5,247 6,838 7,848 7,542 6,013 7,963 5,741 6,044 6,967 7,832 9,168 1,052
2007/2 2008/2 2009/2 2010/2 2011/2 2012/2 2013/2 2014/2 2015/2 2016/2 2017/2 2018/2 2019/2 2020/2 2021/2
SPA化率
総利益率
売 上 高
経常利益
（百万円）
10,000
5,000
0

中長期ビジョン

事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M＆Aなど）
- インフラ強化　IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進

SMILE
IS
POWER.

トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
   2-①. PAL流オムニチャネル
   2-②. PALアプリ会員数の推移
3. サステナビリティへの取り組み
   3-①. サステナビリティへの取り組み
   3-②. サステナビリティへの取り組み

1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP HOLDINGS

	具体的な施策	粗利率	SPA化率
2013年	売れ筋商品のMDサイクル（８週間）での完成段階	56.5%	80%を維持
第1段階	MD改革の断行を宣言		
2013年 11月	環境の変化への大きな舵取りを断行へ 温暖化の影響による春・秋のシーズンの希薄化、バーゲンセールの分散化・不人気化、ファストファッションの浸透・・・等々から	54.7%	80%を維持
第2段階	売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ		
2014年	円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下 短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ 適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止	56.4%	80%を維持
第3段階	4週間の短サイクルMDの完成		
2015年	期初から、全ブランドの4W発注を達成		
2016年	生産プラットフォームの強化 春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、秋冬ものから本格稼動し、質の向上とコスト削減へ	58%を目指す	
	トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み 従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入/大型ブランド育成		
2017年	5つの施策の明確化 ①4週MDのさらなる徹底と推進　②プロモーションのネット化（オムニチャネル） ③ECの強化　④生産プラットフォームの活用・強化　⑤プラスワンカテゴリーの強化 ⑥シフトの効率化		
2021年	店舗の大型化と併せ『高感度ライフスタイル提案型の生活産業』へ		

2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度　EC強化、自社サイト運営の内製化
  オムニチャネル体制構築開始
  2017年度　EC売上高100億円達成
  2018年度　オムニチャネル体制本格始動
  2020年度　EC売上高200億円達成
  2023年度　EC売上高500億円計画

- EC売上高
- 自社EC売上高

2-①. PAL流オムニチャネル

2-②. PALアプリ会員数の推移

PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2018年度　実店舗顧客会員化開始
  2019年度　スリーコインズ顧客会員化開始
  2020年度　スリーコインズEC開始
  2023年度　アプリ会員数1000万人計画

※アプリ会員数
　＝アプリダウンロード数＋WEBのみ会員数

3-①. サステナビリティへの取り組み

インドの綿農家のこどもたちへの就学支援プログラム

パルグループの13ブランドが参加し、インドのオーガニックコットンを使用した商品を新たに企画し、店頭とECで販売いたしました。その販売額の一部を寄付する事で、インド東部のパーナパニー村の子供たち13人が、今秋の新学期から高等教育へ進学することが出来ました。
この活動により本社のブランド担当のみならず、店頭の販売員のサステナビリティの意識も向上し、オーガニックコットンの普及を通して、今後も持続可能な社会の実現に貢献できればと考えております。

▶ https://www.palcloset.jp/shared/pc_pal/event/palcloset/2021_pal_pbp/

社内における教育活動

パルグループではグループ内におけるサステナビリティの推進において、本社から販売店舗に至るまでのすべての社員がサステナビリティに関する課題を正しく理解し、それぞれの立場で取り組むことが重要であると考えております。そこでそれぞれの異なるレイヤーに向けたサステナビリティ教育活動を行っており、本年度上期にもオンライン上での新入社員研修、新店長研修のほか、ブランドバイヤー向けの一部の特殊素材の知識研修など積極的に提供しております。

3-②. サステナビリティへの取り組み

PAL GROUP HOLDINGS

サプライチェーン・コラボレーションによる可視化の実現

私たちのビジネスモデルは川中、川上のバリューチェーンにおいて複数の企業と強固なパートナーシップを組むことで、より高効率で俊敏性を持った供給体制を担保しています。
私たちの考えるサステナビリティの基準を、「サプライヤー行動規範」として、調達先の企業各社と共有することにより、上流のサプライチェーンがより可視化され、安心、信頼できる生産体制が構築されます。

パルグループのサステナビリティレポート

コロナ禍を経た新たな生活様式の中で、消費者のサステナビリティに対する意識も高まる傾向にあり、企業としての役割はますます重要になってきております。
私たちが今年一年間取り組んできたサステナビリティに関わる様々な取り組みを、お客様、お取引各社、従業員、そして投資家の皆様にご報告するために、サステナビリティレポートを作成しております。

こちらからダウンロードできます

▶ http://www.palgroup.holdings/sustainability/

SMILE
IS
POWER.

株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について

1. 株主還元策について

PAL GROUP HOLDINGS

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、25円とする（前期比25円減配）

※2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として、2月期末に1株あたり100円へ増配した配当は、50円へ自動的に変更されました。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の4つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15％を割引
②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15％を割引
③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50％を割引
④金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」での宿泊コース料金の50％を割引（2020年6月1日より）

● 優待券の付与枚数・・・株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚

SMILE
IS
POWER.

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業（Environment）
3-①. 障がい者雇用（Social）
3-②. 関西学院大学での寄附講座（Social）
3-③. パル井上財団での取組み（Social）
4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance）

1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み（Environment Social Governance）は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。

2. PALフォレスト事業（Environment）

「PALフォレスト事業」の取組み （Environment）

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。

3-①. 障がい者雇用（Social）

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 （Social）

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。
両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。

浜木綿くろしお山荘 ▶ www.hamayu-kuroshio.com

3-②. 関西学院大学での寄附講座（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み（Social）

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。

美しい時計台のある関西学院キャンパス

3-③. パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。
具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。
現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ

パル井上財団

3-③. パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会にしていきたいと思います。

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』（Governance）

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売 上	粗 利	人件費	在 庫	資 金	棚 卸	合 計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	・・・	・・・	・・・	98
第二事業部	353	78	77	・・・	・・・	・・・	・・・	86
第三事業部	310	93	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
第四事業部	378	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
第五事業部	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
第六事業部	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
第七事業部	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
開発事業部	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
全社合計	382	82	66	61	・・・	・・・	・・・	85

『②働き方改革』

当社は、１日８時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

パルグループについて

社 是

「常に新しいファッションライフの提案を通して社会に貢献」

グループ経営理念

「社員と株主みんなの幸せのための経営」

社　　名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】　 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設　　立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	920店舗

IR連絡先

経営企画室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。
また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。